

令和3年度 あまよう特別支援学校 保護者アンケート集計(47/57 回収率82%)

- A・そう思う  
 B・どちらかと言えばそう思う  
 C・どちらかと言えばそう思わない  
 D・そう思わない

項目	内 容	評 価				
		A	B	C	D	A Bの割合
1	子ども一人ひとりを大切にしている教育がなされている	45	2			100%
2	子どもは、毎日、学校に行くのを楽しみにしている	42	4			100% (無記名1)
3	子どもにとって適切な教育課程(時間割)になっている	39	8			100%
4	教職員は、子どもとコミュニケーションをとり、理解しようと努めている	45	2			100%
5	教職員は、保護者や関係機関と連携をとり、教育に当たっている	40	7			100%
6	学校だよりや学年だより、連絡帳等で情報発信に努めている	43	4			100%
7	環境整備や健康指導を行い、安全に学校生活をおくれるように努めている	43	4			100%
8	教育や支援について相談しやすい雰囲気である	36	11			100%
9	進路や福祉制度の情報提供を適切に行っている	34	13			100%
10	学校行事は、子どもの個性を踏まえ、適切に行われている	39	8			100%
11	子どもの現状に合わせ安全で楽しい給食(摂食指導)が行われている	43	4			100%

【記述によるご意見】

記述では、「子供の得意なことも苦手なことも積極的に取組んでくださりありがとうございます。毎日楽しみに登校できています。クラスの友達との関りも、先生を交えて楽しく行っているようです。子供の小さな反応も見逃さずに、ささいな気づきもノート(連絡帳)に書いて下さるので、毎日読むのが楽しみでもあり体調管理にも役立っています。現在はコロナ禍で、色々な先生方と接することが難しい状況ですが、違う学年の先生方も、朝顔を合わせると挨拶や声かけをしていただいているので嬉しいです。」など良い評価をいただきました。

一方、「以前のように学年関係なく教室をのぞきに行ったり、子供たち同士の触れ合いや遊びができる日常になればと思います。当たり前のように学校での子供の様子が見れていましたが、ここ数年はよくわからないまま1年間が終わってしまう印象です。その中でも学校では色々な工夫や対策を考えていただいていることは十分に伝わっています。コロナの影響であまり相談する機会がありません。」など、コロナ禍による影響についてのご意見をいただきました。

我々教職員もコロナ前の活動ができることを望んでおりますが、コロナ禍という現実と向き合いながら、児童生徒が安全に安心して充実した学校生活を送れるよう工夫して取組んでおります。

いただきましたご意見につきましては、教職員で共有し、今後の学校運営の参考とさせていただきます。

今後も、コロナ禍の影響は予測できませんが、保護者・学校・関係機関と連携を図りながら、より良い学校作り、また、児童生徒一人ひとりの自立に向けた学習につながるよう教職員一同努力してまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。